

近況雑感

もの言えない時代があった

顧問 佐々木彦藏(第7期)

昭和二十六年に大湊中学校を卒業した四期生。東京近郊に住む十人(男6・女4)が、毎月四日、午後四時開店の門前仲町の居酒屋『魚三』四階の座敷で飲み会を始めて十年以上になる。

安くて旨い店で評判なので、開店1時間前から行列が出来る。先日の月例会、現場到着が早すぎたので、時間つぶしに隣の古本屋「朝日書店」に入った。

古書の棚を見てもなく見ていたら、四百ページを超える分厚い本が目に入った。
一橋大学教授藤原彰編「資料日本現代史1 軍隊内の反戦運動」(大月書店 昭和五十五年刊 6500円)である。



大正十一年六月のシベリア出兵の時の「西比利派遣日本兵士諸君に訴ふ」から始まって、山東出兵、満州事変、日中戦争、太平洋戦争までの二〇年余に及ぶ、主として軍隊内の反戦運動の資料の集成である。とても興味があり求めた。売

価2千円であった。

★ 「戦前の日本軍隊は、軍紀の厳正さをその特徴として誇っていた。命令にたいして一切の批判を許さず、盲目的な服従を要求すること、兵士にいささかの人的権利も自由も認めず、反抗にたいしては苛酷な刑罰をもって臨むことによってその軍紀は維持されていたのである。」

卷末の「解説」の一節である。そのような体制、時代背景の中にあつて行われた反戦、反軍活動の資料(宣伝ビラ・チラシ・文書等)や、陸軍省、師団、内務省、司法省刑事局など取り締まる側の公文書などが沢山収録されていた。

★ 暗い言論封殺時代の攻守両陣營の生の資料に触れて、今の世に生きる幸せを思った・・・が。特定秘密保護法、集団的自衛権問題、日米防衛ガイドライン改定・・・そして、今日から衆院で安全保障関連十一法案の審議が始まった。

「専守防衛」時代の防衛庁に四十年近くお世話になったわが身ではあるが、この国がこの先どうなっていくのだからかと、不安であり心配である。

★ 歳月まことに無情。わが四期生の諸公、近年、心筋梗塞や腰痛などで、『魚三』に毎回参加できなくなった人が出てきた。

この会合もいつまで続くか分からないが、次の東京オリンピックでは、沿道にビニールを敷いて、缶ビール片手にマラソンを応援しようとして話合っている。

★ 考えてみたら、その時は八十五歳になっているはず・・・? (27・5・26記)

「うそりの風の会」の発会

会長 祐川清人(第16期)



「うそりの風の会」は、下北半島を中心とする歴史、言語、音楽、考古

民俗、地理、社会、芸能等に関する調査研究及びそれらの次世代への啓発、継承に努め、文化遺産の保護に寄与することを目的として、平成二十六年七月十二日に発会しました。

会の前身である会は、昭和三十九年九月に同窓の橋善光氏が世話人として「下北史談会」として設立し、後に「下北の歴史と文化を語る会」に改称して、会誌「うそり」を発行してまいりましたが、平成二十六年二月に創立五十周年記念号の発刊を最後として「下北の歴史と文化を語る会」を解散いたしました。

会誌「うそり」が廃刊となり、今後、下北を語り継ぐ機会がなくなってしまったため、仲間が集り、「下北の歴史と文化を語る会」を引き継ぎ、新たに「うそりの風の会」を発会いたしました。発会したばかりで、会員も少なく、委員も新しくなったため、紆余曲折もあることと思いますが、現在、会誌「うそりの風の会」の創刊号を年内に発刊するために会員ともども努力をしているところです。

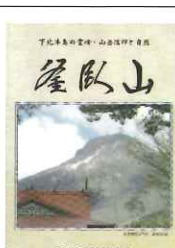
会誌は年一回発行し、原稿の掲載は会員、非会員を問わず受け付けておりますので、希望者は当会までご連絡をお願いいたします。又、新会員を年会費三千元で募集しております。入会希望その他連絡は左記事務局か私までお願いいたします。

「うそりの風の会」は、細く長く下北の歴史と文化を語り継承したいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

うそりの風の会 事務局
〒035-0076
青森県むつ市旭町10番33号
工藤和彦方
電話&FAX
0175-34-9786

ふるさとの本紹介

富澤千里(第16期)



「うそり」が廃刊となり、今後、下北を語り継ぐ機会がなくなってしまったため、仲間が集り、「下北の歴史と文化を語る会」を引き継ぎ、新たに「うそりの風の会」を発会いたしました。発会したばかりで、会員も少なく、委員も新しくなったため、紆余曲折もあることと思いますが、現在、会誌「うそりの風の会」の創刊号を年内に発刊するために会員ともども努力をしているところです。

「うそりの風の会」は、細く長く下北の歴史と文化を語り継承したいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

その釜臥山に分け入り、山岳信仰「山懸け」の古い登拝道の十一年にわたる調査の記録をもとに編まれたのが本書である。先人たちの観察や研究成果を踏まえ、新たに開設された体験体験登山道で観察できる岩石や多くの動植物が丁寧にカラー写真(少し鮮明さに欠けるものもあるが)で紹介されており、見て楽しい総合的解説書である。編集者の一人前田哲男氏は大湊上町在住の本校9期生である。

この本の注文・問い合わせ先
〒035-0086
青森県むつ市大湊上町10番43号
釜臥山出版事務局 前田哲男
電話 0175-24-2106
*定価1500円(税込)+送料

「下北半島の埋没林と海底林」

奈良正義・畑中盛 共著
下北自然史研究会 発行



「下北半島の自然シリーズ」として「①」として書籍が出版されています。書評依頼を悉く断られた事実がこの本の専門性を物語っているのでしょうか。一般的には知られていない下北半島の一面ではありますので、紹介させていただきます。

この本の問い合わせ先
〒035-0041
青森県むつ市金曲一丁目18-45
下北自然史研究会 奈良正義

東京同窓会この一年

26年7月26日

理事会・市ヶ谷「都田川」

出席11名

総会総括・会計報告・年会費納入者への総会資料送付・夏以降の行事日程等

26年8月1日

東京同窓会大湊倶楽部発会式

役員・会長・畑中・幹事長・佐々木

事務局所在地・大湊上町 畑中邸

連絡先：090-6319-1722(佐々木)

大平岸壁ネブタ祭り

花火大会本部テント前

倶楽部の

結成を満場

一致で決定、

花火とネブ

タと杉山同

窓会長の差

入れを肴に

懇親会。

参加11名

東京より3名

現地より8名

26年9月13日

秋の遠足・江戸東京たても園

参加10名

平成5年に都立小金井公園内に開園。歴史的建造物を移築・保存している野外博物館。「植村邸」・「大和屋本店」の前を散策中の参加者。



26年10月5日

高窓連バーベキュー大会

国立昭和記念公園

役員7名参加。常連の畑中・佐々木顧問諸事情により不参加



台風襲来と重なり本降りの雨の下、テントの中でずぶ濡れになりながらのバーベキュー。やっと終わってホッとしている面々。

26年10月10日

事務局会議・品川「ななかまど」

出席7名

役員改選期の為役員人事・役割

分担等検討

忘年会・新年会の企画立案

26年12月17日

役員有志忘年会

高輪「喜久寿司」

参加12名



上に写っていない人は下にいます

27年1月17日

役員有志新年会

銀座・音楽ビヤホール「ライオン」

参加15名

27年3月7日

事務局会議・畑中顧問邸

出席5名

「ななかま35号」編集会議



飲まず食わず、議論はしんげんそのもの

27年4月5日

花見の会

江東区・東京都立猿江恩賜公園

役員・有志7名参加



雨の花見よりは、花より団子の「真見の会」(命名・斎藤会長)

27年4月12日

理事会・西麻布・畑中顧問邸

出席15名

総会までの準備事項及び日程確認。役員人事・年会費等検討

機関紙「ななかま」35号発行について。編集企画、記事執筆者の確認・依頼等

27年5月16日

理事会・市ヶ谷「都田川」

出席16名

総会案内状発送業務・総会会場配置・二次会会場等確認

任期満了及び他の事由による会長以下役員人事検討

菊池朋子(23期)新理事決定

26度会計監査(山形文三・中嶋皓夫監事)

27年5月31日

むつ市首都圏PR事業「むつ市のうまいは日本一! in 亀戸」むつとの遭遇」支援

支援活動参加10名



若い宮下市長を囲んでの記念撮影に収まる大湊高校東京同窓会むつ市支援老人会?の面々

27年6月13日

理事会・市ヶ谷「都田川」

出席14名

総会の最終打合せ。当日の役割分担、配布物等用意するもの及び担当の確認等

27年6月27日

新卒者激励会・懇親会

機関紙「ななかま」35号発行

カウ
ンター

各種卒業生歓迎会
各種入学祝い
各種宴会承ります

振替
ごたつ

宴会場

青森県信用組合
大湊支店

大湊駅

酒蔵
旅館
酒蔵

酒
しゅらん
蘭

寿司職人の
dining居酒屋

全ての宴会にお寿司 or のり巻が付きます

宴会 料理・飲み放題
2時間 4,000円~

料理・飲み放題
3時間 3,000円~
(+1,000円で1時間延長)

大湊高校OB 限定割引あり(自己申告)

むつ市大湊新町3-6
TEL0175-24-1971

懐かしい
ふるさと

大湊新町でタイムスリップしませんか?
のみ放題プラン お一人様4,000円から

炭火焼き鳥・牛舌焼・味噌貝焼き
刺身・馬刺し・焼き魚・季節鍋物
もつ煮込み・キムチ他

地酒・お食事・そば・うどん
大湊駅から 徒歩三分三善通り入口

炭火焼の店
居酒屋 伝ちゃん

第2本曜日定休日
むつ市大湊新町20-31
TEL・FAX 24-3729

商工会議所・観光協会・自衛隊協力会・警察署友の会・大湊料理飲食店組合 会員の店

姉妹店
スナック
ぼたん

居酒屋メニューで
楽しい宴会できる店

お一人でも
お気軽においでください

むつ市大湊新町20-1
TEL24-2681

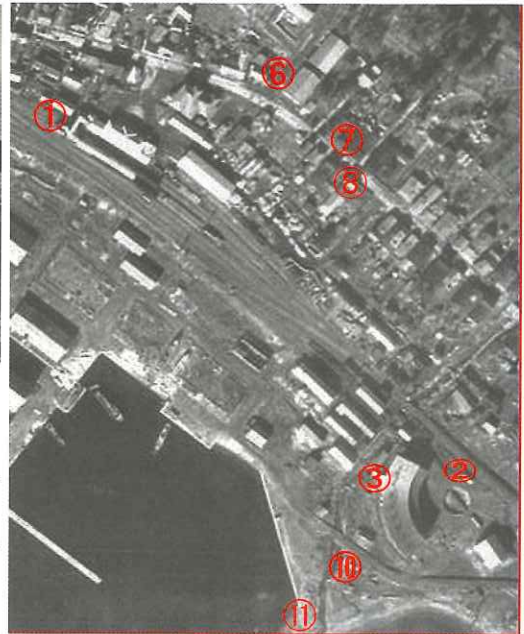
の大湊駅とその周辺

◎大湊駅から東へ

大湊駅は大正10年9月25日に開業した。その後何度か改装されているが、平成22年にリニューアルされたのが今の姿である。昭和の頃は、入口を入ると左側にガラス戸の出札口が二つ並んでおり、そのホーム側(現・みどりの窓口)は小荷物取扱所で、チッキを出す人で賑っていた。中央の待合室の反対側は売店になっていて、立ち食いソバ



える標が、車を引かないように



貨物が無煙化(SL廃止)された大湊線。昭和49年運転が行われた。この客車5輛を連ねた「さよな



以外で存さ公園レー

駅前郵便局を通過、保健所の道の右側に日通の倉庫⑥があり、その前に夜な夜な立ち飲み屋台が出ていた。神明宮を越え、願求院の参道の角が倉本水産⑦創業の地。その向いに細かい格子の家⑧がある。こういう手の込んだ細工を施している家はほとんど見かけなくなった。



お宝写真 創業当時の倉本鮮魚店

マエダストア広告ページより拝借

もう少し東へ行く。



中荒川(最近は大荒川という)を越して少し行くと舛田医院、以前の後援会長・富岡さんの富貴湯(今は無い)、その向いに本山塩屋があった。蔵⑨は現存しており、母屋に繋がっていたことが見て取れる。

恐山街道まで行って右折して海(通称・軍需部の浜)の方へ。踏切を渡り道なりに右にカーブして行くと中荒川に至る。この写真のイラストの辺りに漁師さん達が煮干しを煮る大釜⑩があった。



川の対岸が斗南藩上陸の地⑪で、鶴ヶ城の石垣に使われている慶山石で作られた碑が会津に向って建てられている。平成2年6月2日、完成除幕式で荒川稻荷神社神楽会により神楽が奉納された。



また県道(国道338号)まで戻り東へ。左に少し下った所が大平町集会場だが、ここには明治32年から昭和18年まで大平小学校があった。大荒川まで行って振り返る⑫と釜臥山の雄姿が見える。右側の板塀から松ヶ丘住宅にかけては石春製材所だった。大荒川を越えると第一生命があるが、ここを左折して文京町へ至る道は今では舗装されているが、

田圃の中のジャリ道⑬で「トロッコ」と呼ばれていた(写真ではみえづらいが、中央にかすかに見える白い横線)。左端の建物は大平小学校で、学校までは全部田圃だった。



毎日手製の漁(たも)網を担いでやって来ては大平小学校前の浜⑭へ降りる人がいた。白鳥がいる辺りの海の中でポツンと一人エビを捕る姿が印象的で、エビじっちゃと呼



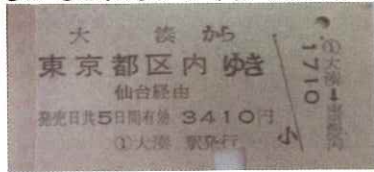
ばれていた浅沼藤三郎さん。捕ったエビを恐山街道沿いの自宅前で天日干して商っていた。昭和35年5月、チリ地震津波で流れ行方不明になった事は東奥日報でも(間違っって浅井姓で)報道された。遺体は一週間後に下北鉄橋附近で汽車の乗客に発見された。大湊田名部市だった頃の出来事。

さらに東進すると、中山(旭町)だが、大湊ブロック以外は田圃ばかりで田圃のなかの一本道(吉田産業横の道)の先に神社と民家が少し見えていた。その先、川近くに昭和の建物・坂下牛乳店⑮が現存。この付近は三本松と呼ばれていたが、ここではシモカ(下北貨物)の西洋館風建物が異彩を放っていた。



むつ湾の向こうにしばらく釜臥山を望み、下北駅を発車、すぐに田名部川の鉄橋を渡り、左に大きくカーブすると間もなく大湊線の終着大湊駅に着く。改札を抜け玄関に立つと、駅前広場が国道側へ下りになっているせいか、あるいは普段の生活圏の高い建物に目が慣れているせいか、一瞬背丈が伸びた様な気がする。

進学や就職等で大湊を離れる大高卒業生は、今は七戸十和田から旅立つ人もいるかもしれないが、多くはこの駅から旅立ち、この駅に帰省するのではあるまいか。



何十年も前にこんな切符を買ってここから旅立った先輩方は右手にあった「日通」や購買部、道の向い側にあった食堂の支那ソバの味を思い出すかもしれない。「下北逍遥」二回目は大湊駅とその周辺、さらには大湊線を走っていた蒸気機関車のその後を記録と記憶を頼りに振り返ってみよう。

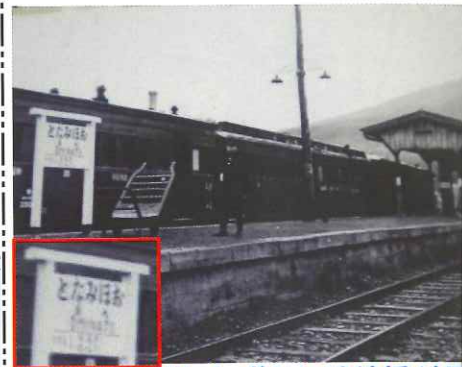
下北逍遥:昭和

◎大湊駅と蒸気機関車



改装前の駅と昭和時代

もあり、ホーム側でも食べられるようになった腹ごしらえのできた乗客が2番線か3番



2・3番線の端にわずかに跨線橋が見
右横書き表示の「おほみなと」の駅名

今では1ヶ月の乗客数は5千人位だ。昭和30年頃は2万人もあったので、客3輜も4輜も連ねてSL(蒸気機関車)が通っていた。大湊は終端駅なので、野辺地し大畑から来たSLは方向転換しなげならず、駅構内(現在のJR大湊寮附近)に転車台②や機関庫③があった。



昭和35年2月に客車が、昭和49年に5月11日、大湊・野辺地間で最後のS「下北号」④を引いたのが、十勝沖地にたまたまあった蒸気機関車C11-224で、広場に屋外保存されている。大湊線のC11型が配属されていた。上記224は167が青森市の合浦公園で屋外保存されている。この車輛は当初むつ市運動場で保存の予定であった。他に214がトのみ⑤保存されているが他の4輜は不明である。



クイズです
右の写真はどこ
の駅でしょうか
答えは欄外



「日通」大湊支店

右上:大湊町章
右:大湊町役場



◎大湊駅から西へ



バスもあるのだが、徒歩で。左折して間もなく大高野球部とは切っても切れない縁の「富岡荘」**(A)**、「会館の風呂」と呼ばれていた「大湊会館」。数歩



先「酒蘭」の手前に湧水「蕩蕩水」がある。大湊には湧水が十数ヶ所あるが、「大湊駅からの散策マップ」によれば、名前の付いているのが他に「三山水」「稻荷神社清水」「安渡の湧水」「和(なごみ)の水」「和戸の水」「麓の湧水」「釜臥の恵み」と八カ所ある。「和の水」は私有地内で見つけ辛い。右の写真は名前のない湧水の三例。



大正10年新道(現国道338号)が開通し、大湊は小松野橋から宇田まで上下2本を坂道が繋ぐ坂の街になった。新道の入口にあったのが映画、芝居、歌謡ショー等娯楽の殿堂だった大湊映画劇場**(B)**、西進するとバイパスとの合流点附近に憲兵分遣所**(C)**があり、ここから下通りへの坂道は「憲兵隊の坂」と呼ばれていた。平成3年、上下を結ぶ坂道のうち11本に市で愛称を付けてからは「浜町坂」となった。次の坂は元の電報電話局から大湊栈橋(通称・菊池栈橋)へ下る「船見坂」で、栈橋跡は公民館になり、海側に「浮島丸出航の地」の碑**(D)**がひっそりと立っている。次は「常楽寺坂」で、下ると左側が町役場～勤労青少年ホーム、右側が公民館・図書館～公園で、この坂が浜町と上町の境。次は「一番坂」でマルイ荘に出る。名前の由来は恐山まで続く三十三



観音の一番目があることから。因みに一番観音を暗いうちに発つと落野沢で陽が昇るので昔は落野沢を目糞落しと言ったとか。兵主神社に合祀された稻荷神社の下に明治43年、上町盛年団が造った演芸場・盛港館～新興劇場～ロマンス座があった坂が「ロマンス坂」。大湊小を越えて消防屯所前から下る坂は古くからの地名に因んで「西の平坂」、JRバス停から下る坂は「川守坂」、ここから14～5軒宇田寄りに川があり、川端に通称「吉田御殿」その向かいが架船場?と呼ばれた「弁天丸」を造った造船場があった。下通りまで通じていないことになっている「川守中の坂」をはさんで新川守バス停から下がるのが「新川守坂」、宇田に入って急な「丹内坂」、八幡宮の横「八幡坂」、「宇田坂」が合流して坂の街は終わる。



マルイ荘勝手口案内板



盛港館の緞帳と観客

*情報や写真を提供してくれた方々(井出祥子、佐々木彦藏、高橋峰男、立花善雄、辻登志雄、畑中皓二、柳谷一志)に感謝致します。

大湊の祭りあれこれ⑦

立花善裕(第19期)

幕類を額に替えて夜の儀装になった大湊の船山車は大きな帆船が屋形の前にあり、後の屋形の上に小さな帆船があるので、稲荷丸や弁天丸は正面から見ると大帆船が見送り額のようにも見える。この



小さな帆船は帆帆(北前船は中央の本帆の他に船先に帆帆という小さな帆がある)を表わしているのだから、どうしてこういう不自然な飾り方をするのかと疑問だった。最近、浜町の「稲荷丸儀装要領」を見る機会があり、この疑問は解けた。この詳しく描かれた儀装図では帆船の位置が現在の儀装とは逆に帆船額が前で大帆船額が上になっており、大帆船額の横に「運行時矢帆」と書かれている。



やはり「帆帆が前、大帆船が後」というのが本来の儀装だということであろう。

この儀装図には昭和51年9月の日付があるが、それ以前から現在の儀装で運行されていたのは確かである。ではいつからだろうか。山車を作った当初からなのか、電線

が張られ、本来の儀装では運行出来なくなってしまうのか。そもそもいつ頃から夜に額を飾るようになったのだろうか。全国的に夜は提灯とかぼんぼりなのに、下北だけなぜ額なのか。疑問は尽きない。ともあれ、一度は運行時ではない本来の夜の儀装を見てみたいものである。

船山馨の小説「稚情歌」に「細い、薄い割竹に、紙型を切り抜いてつくった桜の花弁を五つ六つならべて貼ってその先に、小さな金色の短冊を結んだ軒飾りが、黒ずんだ低い家並みの庇を、いちめん薄桃色の霞で染め上げて」という一節がある。これは大正時代の札幌まつりの描写だが、そのまま大湊の秋祭りにも当てはまりそうだ。祭りが近づくと入口や縁側の庇には二尺余りもあるとかという軒花が並べて挿され、玄関には家紋入りの提灯が掲げられていた。更に街の要所々々には武者絵などが描かれた額や提灯が飾られ、夜通し明かりがついていた。田名部祭りも現在では提灯になったが、以前は額を掲げていた。ともあれこれらが飾られると街中がいかにも「祭り近し」といった雰囲気包まれた。十数年前になるが、祭りに帰省した折、上町では野呂商店付近始め数箇所赤白の柱の先端に櫛を飾って提灯を掲げていた。現在でもやっているのだろうか。



大平「神明峯」とその後方に破れてはいるが額が見える



昭和30年代、土曜日の夜に大平・神明峯、新町・竜神山、近川を挟んで浜町・稲荷丸、上町・大神丸川守・弁天丸と五台の山車が浜町稲荷神社前に並び酒盛りの囃子で賑やかだったが、現在では、参加者はめっきり減り、見物人は無いに等しい「大湊祭り」である。大正9年には芝居小屋が立ったこともあるのだが、現在とは比ぶべくもなく盛況だった頃の様子を戦前昭和6年と戦後昭和26年の「東奥日報」の記事で紹介してこの連載を終りにしたい。

昭和六年(1931) 九月十三日(十二日夕刊)(旧八月二日) 大湊祭典 盛況を極む

下北郡大湊町大字大湊鎮守の兵主神社の祭典は六、七の両日執行された、前夜祭の六日は数日前から降り通しの雨で町民の気を腐らせたが、雨を冒して午後二時頃から町印大神丸(上町)稲荷丸(下町)の山車は木遣音頭も勇ましく

兵主神社前へ曳出された、午後六時頃から雨もカラリと晴れて空一面に金星銀星がキラキラと輝き八時頃には相當の人数でお宮の境内は参拜人の往来や神樂の舞や踊の見物人等で身動きも出来ないほどであった、七日は早朝から晴天に恵まれた祭典日和で、午前九時頃前日同様山車は正規の半纏を着した青年團員の外に思ひ思ひに着飾った處女會員や稚児姿の幼年幼女達に曳出され神社前に着車し、正午愈々神輿の渡御が始まり行列は神樂を先頭に上町から練り出され午後三時下町稲荷神社に着、休憩の後同五時神社を發、往路を再び通御して午後十一時無事入御となった、例年天候に恵まれない大湊の祭典も幸い七日は好天気であったので金谷、田名部方面は云ふまでもなく、近郷近在からの人出多く不況の折柄にもかかわらず、はらず豫想以上の盛況を呈した、殊に要港部所在地の關係上兩日共海軍、人の参拜の多かつたのは一入大祭に異彩を放つた

昭和二十六年(1951) 九月十一日(旧八月十一日)南部版 大湊三稲荷祭典(ママ) 下北郡大湊町兵主、下町稲荷、川守稲荷の三神社合同祭典は六・七の両日好天に恵まれ六日は前夜祭、七日は本祭を執行した。両日とも美しく飾った町独特の船山車稲荷丸(下町)大神丸(上町)弁天丸(川守)竜神山(新町)樽御輿(一本松)が運行され本祭の七日は神輿の渡御、稚子行列、御神樂等十数町に亘る古式床しい行列が続き、また川守稲荷神社境内では少年相撲あり、上町中央商店連盟が元郵便局前で開催した素人演藝会場は通行止めの盛況であった。

東京へ下北を贈ろう!

なまこ・ほたて・菜の花商品・海産物全般

有限会社 **すぎやま**

青森・下北ふるさとの会

青森県上北郡横浜町字大豆田127
TEL0175-78-2080・FAX0175-78-6051
URL: http://tpsuns.jp
E-Mail: info@tpsuns.jp
My E-Mail: sugiyama@tpsuns.jp

代表 杉山 徹 第22期生(同窓会長)

Travel Plaza SUN・SHINE
Aomori-Pref Yokohama

本州のトップ下北半島

同期会便り

あしごき会 2014夏の集い 畑中皓二(第5期)



平成二十六年八月十七日に「夏の集い」を行いましたところ、平成二十五年と同じ二十名の参加を得ました。
場所も同じ「むつプラザホテル」で傘寿を祝う会Ⅱの様な形で大いに盛り上がり、時間の経つのも忘れ、後期高齢者の貴重なひと時を過ごしました。
又今年はいしごき会(5期中心)の早生まれ組も傘寿を迎え、これで生存者全員傘寿を迎えました。
今年も八月十七日十七時三十分から「むつプラザホテル」で傘寿を祝う会Ⅲを兼ねた「夏の集い」を行います。今年も参加者目標二十名を超えます。

「喜寿を祝う会」

星登美雄(第9期・仙台在住)

喜寿を迎えた第九期同期会では昨年七月二十日、仙台の奥座敷秋保温泉で「祝う会」を開きました。
梅雨明け前の仙台には珍しく晴天の暑い日、前回と同じように青森方面と関東方面から新幹線で仙台にそれぞれ十三時前後の到着、八年振りの再会を喜び合いました。
前回の開催は平成十八年松島で三十四名の参加でしたが、今回は十九名(北から十名、南から九名)で大幅に少なく、特に女性の参加が皆無だったのは残念でした。
送迎バスで約三十分、創業四百年の老舗の宿岩沼屋に到着。
幹事からの希望もあり、今回は宿でゆっくりしてもらおう予定にしてみましたので、休憩後早速浴場へ。大浴場、露天風呂、サウナと温泉をのんびりと楽しみました。
部屋でくつろいだ後の宴会に先立ち、既に亡き同期生のご冥福を祈って黙祷を捧げました。
斎藤忠志東京同窓会会長による開会の挨拶に続き、坂本信氏の乾杯の音頭で宴会開始。男性だけの宴会では殺風景だろうと心配され



た森興道氏のご厚意で、綺麗どころ三名が宴に華を添え、欠席の高森栄一氏から頂いた郷土の美酒を皆で味わい、大いに盛り上がりました。
続く二次会でも卒業以来の再会という人もいて、近況報告や思い出話は夜半まで尽きませんでした。
翌朝は仙台駅で解散し、希望者は仙台市博物館へ向かいました。
博物館では大震災復興祈念特別展「奈良・国宝室生寺の仏たち」が開催されており、門外不出の仏像が特別に貸し出され展示中でした。写真や映像で見るとの違い、国宝の实物を目の当たりにしてその迫力に圧倒されました。
喜寿のお祝いで図らずも国宝級の仏像を見学できたことは幸運でした。この見学を提案された前田哲男氏に感謝します。
仙台滞在は二十四時間余り、慌ただしいうちにも充実感があつた二日間でした。再会を約しての別際には「次は傘寿の祝いだね」との声が聞かれました。

古希を祝う三八同期会

太田 功(第15期)

昨年十一月、グラントヒル市ヶ谷で古希を祝う三八同期会(38年卒)を開催した。
前日までの雨が嘘のように当日は好天に恵まれ、総勢三十一名が和気藹々と楽しい一時を過ごすことが出来た。
初めて参加した人も昔の面影はあるもので、会った瞬間大声を掛け合い握手を交わし抱き合うなど、昔を懐かしむ光景に同期の仲間の良さと絆の深さを改めて痛感させられた。七十歳を過ぎても女性の元気洗剤としたパワーと容姿端麗

には魅了された。
今や人生九十年時代に突入!。六年后には東京オリンピックが、翌年には喜寿を迎えるが、これからもお互いに健康に留意し、喜寿での再会を誓い閉会となった。
その後はカラオケ会に繰り出し、美酒・美声・美談に酔いしれる一日であった。仲間の一人は「七年後まで会えないのは実に寂しい、この間は年一回、茶飲み会」でもやろう」という事になり、楽しみが又一つ増え、三々五々解散となった。
三八同期会は愈々古希から喜寿へ



五、

- ② 史上最大の作戦
- ③ アラビアのロレンス
- 歌謡ヒット曲
- ① こんには赤ちゃん
- ② 見上げてごらん夜の星を
- ③ 高校三年生 (太田功 調べ)

「安堵会」16期生の集い

富澤千里(第16期)

四月四日(土)、私学会館「アルカディア市ヶ谷」で同期生の集い「安堵会」を開いた。首都圏の在住者のみならず、今年も仙台や浜松からの出席者があつた。
桜花爛漫を期待して、毎年四月の第一土曜日に開催することにしてきたが、当日は花びらの舞う中での集いとなった。
孫のこと、伴侶のこと、わが身の健康のこと、そして幾度繰り返しても懐かしい中学高校時代の話。二時間半は瞬間に過ぎた。
いよいよ16期生も「古稀」を迎える年となり、11月には郷里むつで「古稀の集い」が計画されている。全体としての同期会は今回が最後になるとのことであるが、「安堵会」は、来年以降も継続していくつもりである。



昭和三十三年の主な出来事

- 一、ニュース
 - ① 伊藤博文肖像の新千円札発行
 - ② ケネディ大統領暗殺
 - ③ 力道山刺殺
- 二、ヒット商品・食品
 - ① サインベン
 - ② タップパウエア
 - ③ エースコックの即席ワンタンメン
- 三、流行語
 - ① カワイ子ちゃん
 - ② 小さな親切
 - ③ いいから気にしない
- 四、邦画・洋画
 - ① につぼん昆虫記

「東京生活」アンケート

No.30

今年三月、われらが母校青森県立大湊高等学校を卒業し、進学・就職のため上京した同窓会新会員第六十七期生の皆さんに初めての東京生活についてのあれこれ尋ねてみました。

(返信到着順)

《質問事項》

- ①東京(首都圏)で生活してみても一番ビックリしたことは何ですか? ②言葉の問題で悩むことはありましたか? ③上京後、クラスメートに何回会いましたか? ④毎日の仕事(又は学校)は、きついですか? ⑤今の仕事(又は学校)をかわりたいと思つたことがありますか? ⑥田舎に帰りたいと思つたことがありますか? ⑦大湊高校時代で一番印象に残っていることは何ですか? ⑧母校の後輩に言いたいことは? ⑨いま一番会いたい人は? ⑩その他、どんなことでも...

■名久井 うらら(横浜市青葉区)

①星が見えないことです。②青森なのにあまり、なまってる感じが言われます。③1回。④はい!!⑤それはいいです。⑥はい!!⑦毎日。⑧いっぱい遊んでおきなさい♡ですかね。⑨家族。⑩はやく、2年間過ぎて3年生になりたいです...

■匿名希望(埼玉県朝霞市)

①バイト先でゴキブリを見てしまいました。②ありました。③約40回。④今は慣れたのでそこまできつくないです。⑤ありません。⑥毎日思っています。⑦地元の友達に毎日会えていた幸です。⑧今を全力で楽しんで下さい。⑨家族です。⑩高校生、戻りたいです。

■林 夏美(神奈川県平塚市)

①トイレとお風呂とキッチン下からゴキブリが出てきたこと。②なかったです。逆に方言かわいいて言われました(笑)。③2回です。④授業の内容は難しく、覚えることがたくさんですが、楽しいです。⑤まだ、思ってません。⑥ないです。⑦なんだかんだで、毎日が楽しかったです。⑧毎日、一日一日を大切にしてください。⑨地元の友だち。⑩関東に来ると青森の食べ物物が本当に食べたくなります。それと、本当に湘南の海とか横浜の夜景はきれいです。

■的場 芙由香(栃木県宇都宮市)

①交通量がとても多いです。私の住む街(宇都宮)は「自転車の街」と言われているほど自転車の交通量も盛んです。バス賃が安いことにも驚きました。②「青森から来た」というと訛っていると思われるのですが、私はそこまで訛っていないので珍しいと言われます。ですが、言い回しであったり、方言の差は様々なので悩むというより楽しいです。③一回も会っていません。早く会いたいです。④起きる時間は早くありませんが、空き時

間を効率よく使うのが難しいです。後は毎週大量の課題が出るので、それはきついです。⑤思っています。⑥今とても帰りたいです。皆と会っておしゃべりしたいです。⑦高校生だった時に思い出に残っていることは何?と聞かれたら大きな行事を必ず思い出していましたが、今となっては日常的な会話であったり、ふざけあつたりしたことや授業が印象強いです。大学にクラスがないからだと思います。⑧笑ったり悩んだり、すべてが青春です。思いっきり楽しんで、頑張ってください!!⑨お母さん、友だち。⑩夏の暑さが恐いです。負けずに頑張ります。

■古川 碧海(千葉県市川市)

①D&Nコンプレクシヨナリー(株) ②小学生が電車一人でのつるること。③会ってない。④ほどほどに。⑤まだなし。⑥少し。⑦とくになし。⑧がんばって下さい。⑨とくになし。⑩なし。

■匿名希望(東京都板橋区)

①5月なのにもう暑いこと!!いっぱいあるとかが言いながら、決まったところにしか遊びに行かない自分びつくりです。(笑)②むしろ、なまりがないと言われる。③0回!④はい。⑤ないです。⑥あります。⑦仲のいい友達と話しをしている時間が一番たのしかったです。⑧ないです。⑨家族と、高校で仲よかった友達です。

■伊勢大樹(東京都練馬区)

①電車がいっぱい走っていること。

人の多さ・とにかく暑い②最初はなまってると言われたが、一・二週間で標準語になりました。③2回くらい。④きついがやりがいがある。⑤あるがむづに恩返しするためには人生をかけて頑張ります。⑥あります。⑦部活と2年間の井上クラス。⑧社会に出て働いてから先生方が言っていたことの難味を感じます。働くより高校の方が楽です。先生方の言う事をきいて、頑張ってください。⑨むづつの人お世話になった人⑩働いてから働くことの難しさ、大変さを痛感しております。小・中・高の階段を後輩達には大切に過ごしてほしい。新社会人として、大高卒業生として、堂々と胸をはって、社会生活を送っていきます。

編集後記

■前号まで八回続いた「恩師健在」は書いてくれる恩師を見つけられず、中断せざるを得なくなりました。健在な恩師をご存知の方、自薦・他薦問わず、ご一報を。

■「ふるさとの動き」の意味で「うそりの風の会」と書籍の紹介を2ページに載せました。見えづらいふるさとのひとこまでです。

発行 青森県立大湊高等学校 東京同窓会
編集 立花善裕(19期)
編集 畑中皓二(5期)
事務局長 千三四三〇〇三二
〒034-0111 埼玉県越谷市大里
四〇一―四四一
富澤千里(16期)
〒048-0978 青森県
印刷 N's Digital Factory

THE PLAZA HOTEL MUTSU
プラザ ホテル むつ
〒035-0061 青森県むつ市下北町2-46(JR下北駅前)
TEL 0175-23-7111(代)
FAX 0175-23-7770
クラス会・同期会・親戚会等に
落ち着いたある和風ダイニングと安らぎのある客室で……
JR下北駅より2分

むつの便りは「やなぎや」のお菓子で...
YANAGIYA
●田名部ばやし
●おおみなと
●フライボール
●寒立馬サブレ
●他 銘菓各種
緑町本店 むつ市緑町17-58 T.0175-28-2880
金谷店 むつ市金谷2-7-11 T.0175-23-6720
URL:http://o-yanagiya.jp